

県営仙北アパート(2号棟)

水道の凍結防止について(水抜きと通水方法)

【1】水抜き・湯抜き操作

(1) 台所・洗面・浴室の蛇口から、水を少し流しておきます ※ハンドルは、水側にして下さい



水側にして蛇口を開きます



水側にして蛇口を開きます



シャワーホースは、床に置いて下さい
温度設定はロックボタン(赤)前後としてください。

(2) 台所の壁に設置された、「水抜栓操作盤」を操作し水抜きを行います。

1. ①の電源スイッチを「ON」にし、電源を入れます。
2. ②の『押』ボタンを押します。ランプの点灯位置が「通水」から「水抜」へ変わり赤ランプが点灯します。
3. 蛇口から水が出ないことを確認します。

①
スイッチ



②
水抜き押ボタン

- (3) 台所、洗面、浴室の蛇口ハンドル(レバー)をお湯側に動かします。
また、浴室の吐水切替をシャワー側に切り替えて、シャワーホースからも水を抜いてください。
- (4) トイレの給水レバーを操作してタンクの中の水を全部流して下さい。(長期間留守にする場合のみ)
洗濯機の給水ホースを外し、洗濯機の蛇口からも空気を入れてください。
- (5) 蛇口から水、お湯が出なくなったら、全ての蛇口を閉め、水抜栓操作盤の電源を「OFF」にします。

※以上で、水抜き操作は終わりです

【2】通水操作(水・お湯を出す時)

- (1) 各蛇口が閉まっていること、洗濯機の給水ホースが繋がっていることを確認して下さい。
- (2) 水抜栓操作盤を操作し、通水作業を行います。

1. ①の電源スイッチを「ON」にし、電源を入れます。
2. ②の『押』ボタンを押します。ランプの点灯位置が「水抜」から「通水」へ変わり、緑ランプが点灯します。
3. 各蛇口のハンドル(またはレバー)をゆっくりと、少しずつ開いて水を出します。この時、水と一緒に空気も噴き出しますので、水の飛び散りにご注意ください。

※以上で、通水操作は終わりです

※ 通水当初は、濁った水・湯が出る場合がありますので、濁りがなくなるまで流してからご使用下さい。

※ 止水栓、水抜栓、湯抜栓のハンドルは、全開または全閉でご使用ください。
中途半端な位置での使用は、漏水事故の原因となりますのでご注意ください。

給湯器の凍結防止について

お住まいのお部屋には、給湯器が設置されております。凍結による故障は自己負担となりますので、先の水抜き操作に加え、以下のことをお守りください。

- ① 冬期間中は、長期不在の場合も、宅内の契約ブレーカーを切らないでください。
また、分電盤内に給湯器及び凍結防止ヒーターの表示があるブレーカーは、絶対に切らないでください。
 - ② パイプシャフト（水道メーターがあるところ）に、凍結防止ヒーターがある場合は、コンセントが差し込まれているか確認し、抜けている場合は差し込んでください。
 - ③ 給湯器のコンセントも抜かないでください。（給湯器本体のヒーターが作動するため）
-
- その他詳細については、各取扱い説明書をご確認ください。
 - 電力の契約解除などを行う際には、事前に住宅センターにもお知らせください。